グラフ No.585 GRAPH FUKUOKA

ふくおか

2016
WINTER
冬



特集

酒どころ、福岡。

福岡海街紀行

ブランドの海 豊前海

2016 WINTER 冬

グラフ ふくおか

No.585 GRAPH FUKUOKA

グラフふくおか 冬号 WINTER 2016 （通巻585号）
平成28年12月20日発行（季刊）
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
☎092-643-3102（直通） ファクス092-632-5331
県ホームページ http://www.pref.fukuoka.lg.jp/
※グラフふくおかのバックナンバーも掲載しています



03 特集 酒どころ、福岡。
08 知事のふるさと訪問 うきは市 北九州市
12 福岡海街紀行 ブランドの海 豊前海
16 きらめきマイタウン 宇美町
22 人づくりは未来づくり ふるさと・田川の未来に羽ばたけ！
24 木材の地産地消で森を元気に！
26 県政フラッシュ
27 情報広場
28 県議会だより

表紙紹介



■関連記事12ページへ

豊前海（ぶぜん）のカニカゴ漁

ワタリガニ（ガザミ）を育む、豊かな海へ

豊前海は全国でも有数のワタリガニの産地。小型機船底びき網、さし網、カゴ漁などで漁獲されますが、このうちワタリガニを専門とするのはカニカゴ漁。餌を入れたカゴを海に仕掛け、これに誘われて入る活きの良いカニを水揚げします。豊前海の漁師たちは、卵を抱えたメスガニを海に返す「抱卵（ほうらん）ガザミの再放流」など、資源保護の取り組みを続けています。こうしたたゆまぬ努力が「豊前海」のブランドを支えています。

特集

酒どころ、福岡。



「米どころは、酒どころ」。
西日本有数の米の産地であり、
筑後川、矢部川、遠賀川など
良質の酒造りに最適な水に
恵まれている福岡県では、
数多くの酒蔵による酒造りが盛んです。
米作り、酒造りの環境に恵まれた
「酒どころ福岡」の魅力に迫ります。



新酒の完成を告げる、
青々とした新しい杉玉

芳醇でありながら透明感のあるうま味。世界を魅了する「Theふくおかの酒」。

「自分たちが造るのは〝地酒〟。地元の米を使うのは当たり前です」。そう語るのは八女市の蔵元「喜多屋」七代目当主・木下宏太郎さん。IWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）2013日本酒部門最優秀賞（チャンピオン・サケ）に輝いた「大吟醸 極醸 喜多屋」の酒米も福岡県産の山田錦です。

福岡の酒の特徴は、うま味。それは、西日本で作られる酒米が、うま味のある酒に仕上がる特性を持つ「晩生種」が多いからだと言います。しかし一方で、発酵技術が拙いと「重たい」味わいになることがあります。そこで、喜多屋では米の特性を見極め調整していく技術を15人の蔵人全てに徹底して教育。さらに温暖な気候の福岡で、年間を通して東北地方の冬に匹敵する環境を完璧に保つ醸造設備を整えることで、質の高い酒造りを実現してきました。

「福岡の人は、福岡の食に誇りを持っている。その人たちが福岡の美味と一緒に飲んで『うまいと感じる酒』と、福岡で生まれ育ち、福岡の食に親しんだ自分が『うまいと感じる酒』はイコール、という自信がある」と木下さん。加えて、杜氏も蔵人も福岡の人間。感性も原料も「オール福岡を徹底的に極めた」、まさに「Theふくおかの酒」、それが喜多屋の酒だと話します。

醸造家としての約30年間、試行錯誤しつつも目指してきたのは「芳醇かつ透明感のある」酒質。2013年、「大吟醸 極醸 喜多屋」についてIWCの審査委員長は「最高レベルの芳醇さと透明感の両立」と評しました。思えば、五代目から六代目に引き継がれる時に残された言葉も「芳醇爽快」。それだけに、喜多屋の「一所懸命」が世界に理解されたことは大賞をもらうよりうれしかったと言います。

現在、15カ国に輸出される喜多屋の酒。木下さんは「世界各国の人が喜多屋の酒をきっかけに、日本に興味を持ち、『喜多屋のある福岡に足を運んでみよう』そう思ってもらえれば」と考えています。さらに「酒の需要が世界規模になれば、酒米を作っている人に貢献することになり、ひいては地域経済に貢献することにもつながる。実現は簡単ではないかもしれないが、時間をかけて努力を重ねていきたい」と言います。

「チャンピオンを取ったことがゴールではない」と木下さん。「酒を通して多くの人に喜びを」。その真摯な酒造りに期待が募ります。



1



2



3



4



5



6



7



8

1.精米した白米を蒸し、蒸米を作る
2.蒸米を約32℃の麹室へ。蒸米を広げ、麹種を振る「種切り」という作業を行う
3.麹菌が繁殖しやすいよう、麹種を振った蒸米を布で覆い、布団を掛ける
4.夜に「床返し」という作業を行い、翌朝室蓋に盛る。その後、昼夜問わず2～3時間おきの作業が1日続き、吟醸麹ができる
5.日本酒は3段仕込み。酒母に添仕込・仲仕込・留仕込と3回に分けて仕込水・米麹・蒸米を仕込む
6.毎日もろみの成分を分析し、発酵温度などを制御する
7.約25～32日後、発酵を終えたもろみを圧搾機で搾る
8.50％磨きの純米大吟醸をチェックする木下さん。初代より続く「主人自ら酒造るべし」の家訓に基づき可能な限り現場に立つ



「発酵は微生物の力。米も毎年天候が異なり性質が変わる。完全な再現が難しく、喜多屋の酒はまだまだ発展途上」と、さらなる高みを目指す「喜多屋」代表取締役社長の木下宏太郎さん

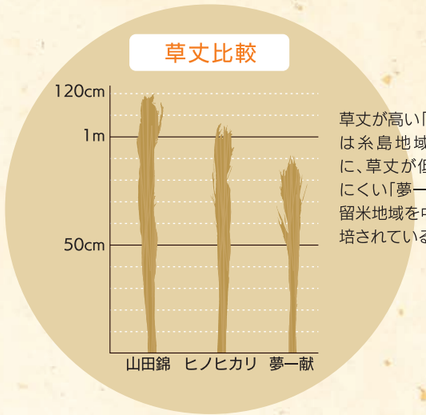


文政年間創業の「喜多屋」。以来約200年にわたり、八女の地で酒造りを続けている

福岡の酒造りを支える、福岡の米作り。

福岡県は、歴史的にも古くから稲作が行われた地域で、酒米作りも盛んです。中でも、吟醸・大吟醸に用いる酒米の王様『山田錦』は、全国4位の生産量を誇り、その代表的な生産地が糸島市です。豊富な水や山から吹き下ろす風による適度な乾燥、さらに朝晩の寒暖差などが、山田錦作りに適しているといわれます。

また、県では平成15年、酒米の新品種『夢一献』を開発しました。夢一献の一番の特徴は草丈が低いこと。台風などの影響を受けにくく、安定した収穫量が確保できるといい、生産に携わるJAみづま担い手連絡会の田川勉会長も「酒蔵の多い三潴皆さんの情熱でもあります。



草丈が高い「山田錦」は糸島地域を中心に、草丈が低く倒れにくい「夢一献」は久留米地域を中心に栽培されている



黄金色の稲穂が一面に。台風が少なかった今年は豊作だという

にふさわしい品種と思った」と話します。とはいえ、「栽培開始から数年間は、肥料の量から土壌の改良まで、試行錯誤の連続だった」と初期の困難を振り返ります。しかし、生産者同士で情報を交換したり、JAみづまや県とも協力して研究を重ね、現在ではその品質もさることながら、生産実績においても、山田錦に次ぐまでに成長。当初少なかった生産希望者も徐々に増加するなど、米作りの未来にとっても、まさに「夢」を背負った酒米として、福岡のおいしい酒造りの一翼を担っています。

「酒どころ福岡」を支えているのは、「米どころ福岡」を支える皆さんの情熱でもあります。

おいしいお酒になるよう、皆で協力して酒米作りをしています！



「夢一献」を生産するたかわファームの皆さん。左から、池田千代次さん・田川勉さん・室岡豊さん



大型コンバインでパワフルに刈り取られた「夢一献」。収穫後は乾燥調製貯蔵施設「カントリーエレベーター」で乾燥され、直ちに酒造りの現場に運ばれる



平成29年酒蔵開放イベントのお知らせ

	開催日	時間	会社名	所在地	電話番号	他の日の可否・可の場合予約等
	1月28日(土)～3月5日(日) ※土・日・祝日のみ	10時～17時	浜地酒造(株)	福岡市西区元岡1442	092-806-1186	可・要予約
	2月10日(金)～12日(日)	9時～16時	(資)伊豆本店	宗像市武丸1060	0940-32-3001	可・要予約
	2月11日(土・祝)	10時～15時	(株)いそのさわ	うきは市浮羽町西隈上1-2	0943-77-3103	可・要予約
	2月11日(土・祝)	10時～16時	野田酒造(株)	みやま市瀬高町大江900	0944-62-5101	不可
	2月11日(土・祝)・12日(日)	「城島酒蔵びらき」詳しくは下記参照				
	2月18日(土)・19日(日)	未定	石蔵酒造(株)	福岡市博多区堅粕1-30-1	092-651-1986	可・要予約
	2月18日(土)・19日(日)	11時～16時	(有)白糸酒造	糸島市本1986	092-322-2901	不可(試飲・販売は可) 4/8、4/9も開催
	2月18日(土)・19日(日)	10時～16時	勝屋酒造(名)	宗像市赤間4-1-10	0940-32-3010	可・要予約
	2月25日(土)・26日(日)	10時～16時	菊美人酒造(株)	みやま市瀬高町上庄183	0944-62-3001	可(試飲・販売のみ)・要予約
	3月1日～3月末の平日のみ(要予約)	10時～15時	寒北斗酒造(株)	嘉麻市大隈町1036-1	0948-57-0009	10人以上
	3月4日(土)・5日(日)	10時～16時	(株)喜多屋	八女市本町374	0943-23-2154	可・要予約
	3月5日(日)	10時～15時	林酒造場	京都郡みやこ町 犀川崎山992-2	0930-42-0015	可(大人数の場合は要予約)
	3月11日(土)・12日(日)	9時30分～16時	溝上酒造(株)	北九州市八幡東区 景勝町1-10	093-652-0289	可・要予約
	3月11日(土)・12日(日)	10時～16時	大賀酒造(株)	筑紫野市二日市中央4-9-1	092-922-2633	可・要予約
	3月11日(土)・12日(日)	10時～17時	千年乃松酒造(株)	久留米市北野町今山370-1	0942-78-3003	不可
	3月12日(日)	10時～16時	玉水酒造(資)	みやま市高田町舞鶴214-1	0944-67-2001	不可
	3月18日(土)	10時～16時	綾杉酒造場	福岡市南区塩原1-12-37	092-541-3908	不可(相談可)
	3月25日(土)・26日(日)	10時～16時	(資)若竹屋酒造場	久留米市田主丸町 田主丸706	0943-72-2175	可
	3月26日(日)	10時～16時	旭菊酒造(株)	久留米市三潴町壱町原403	0942-64-2003	不可・2/11、12 「城島酒蔵びらき」
	4月8日(土)・9日(日)	11時～16時	(有)白糸酒造	糸島市本1986	092-322-2901	不可(試飲・販売は可) 2/18、2/19も開催
	4月9日(日)	13時～15時30分	瑞穂菊酒造(株)	飯塚市天道375	0948-22-1050	可・要予約
	黒木大藤祭期間中 (4月中旬～5月上旬)	10時～17時	(資)後藤酒造場	八女市黒木町黒木26	0943-42-0011	不可
常時開催	1日1組限定	—	若波酒造(名)	大川市鐘ヶ江752	0944-88-1225	要予約
常時開催	随時(要予約) ※日・祝・会社休日除く	10時～16時	比翼鶴酒造(株)	久留米市城島町内野466-1	0942-62-2171	2/11、12「城島酒蔵びらき」はメイン会場のみ

城島酒蔵びらき

2月11日(土・祝)・12日(日)9時30分～16時

参加酒蔵
- ❶筑紫の誉酒造(株)
- ❷(株)花の露
- ❸有燻酒造(株)
- ❹比翼鶴酒造(株)
- ❺瑞穂錦酒造(株)
- ❻池亀酒造(株)
- ❼萬年亀酒造(株)
- ❽旭菊酒造(株)
- ❾(株)杜の蔵

《シャトルバスが9時より運行　❹はメイン会場のみ》





圖久留米南部商工会　☎0942-64-3649
http://nanbu-shoko.jp/sakagura/

詳しくは福岡県酒造組合ホームページをご覧ください。http://www.fukuoka-sake.org/　福岡県酒造組合　検索

圖福岡県酒造組合　☎092-651-4591　ファクス092-633-6722

うきは市

平成28年9月14日



小川知事が県内各地に出向き、県民の皆さんと直接触れ合う「知事のふるさと訪問」。県内有数のフルーツの産地で、古き良き町並みが残るうきは市を訪れました。

滞在型交流施設 注連原住宅



新川田篭地区の川沿いにある集落は、茅葺民家と棚田がつくる山里の風景が広がる。注連原住宅（愛称：うきはポサーダ）は、平成24年の九州北部豪雨で被害を受けた古民家を再建築した施設で、宿泊も可能。来年のオープンを予定している



地区の皆さんから現在の様子や、うきはポサーダを活用した今後の展望などについて説明を受けた



「日本の棚田百選」にも選ばれたつづら棚田

甘柿「秋王」の農園





県が開発した新品種の甘柿「秋王」は、糖度が高くサクサクとした食感で、種がほとんどないのが特徴

うきは市は、「フルーツ王国うきは」として、四季折々のフルーツのおいしさを発信しており、この日は、柿の「早秋」や種なしぶどうの「BKシードレス」も紹介された



地域で頑張る皆さん

対　話

小川知事



「うきはブランド推進隊」の馬場亮子さん。通訳としての経験を生かし、オランダやハワイとの交流など、うきはブランドの海外展開に取り組む



「故エリソン・オニヅカ氏を後世に語り継ぐ実行委員会」事務局長の関健児さん。慰霊祭の開催や同氏の祖父母の家跡の清掃活動を行っている



「龍宮株式会社」代表取締役社長の梯恒三さん。医療用のガーゼと脱脂綿で作る健康寝具「パシーマ®」を市内の新生児に贈り、地域に貢献



「株式会社うきはレインボーファーム」代表取締役社長の高浪眞次さん（写真左）と取締役チーフマネージャーの樋口浩一さん。新規就農者の育成に取り組む。東日本大震災を機に福島県から移住した研修生は、市内でトマト農家としての就農を目指している

うきは幸輪保育園・老人ホーム エバーガーデンうきは



保育園と老人ホームが園庭を挟んで同じ敷地内に設置された「幼老連携施設」として注目を集めている同施設。老人ホームの入居者からは「子どもたちとの触れ合いが生きがいになっている」との声が聞かれた



園児たちが元気いっぱいに知事を歓迎

この日も園児と高齢者が楽しく触れ合う光景が見られた



エリソン・オニヅカ橋



エリソン・オニヅカ橋の前で地域の皆さんと。没後10年となる平成8年に架け替えが行われた橋にオニヅカ氏の名が付けられた



今年3月には、浮羽中学校の生徒たちが作成したオニヅカ氏の言葉を伝える看板が設置されるなど、現在も郷土の英雄として語り継がれている



日系人初の宇宙飛行士エリソン・オニヅカ氏。1983（昭和58）年に先祖の墓参りで浮羽町（現うきは市）を訪れた際、浮羽中学校で記念講演を行った。1986（昭和61）年、搭乗したチャレンジャー号の爆発事故により死去

団体紹介

うきはブランド推進隊



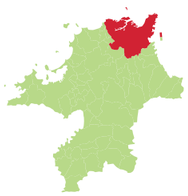
市外からの移住者10人が活動中のうきは市の地域おこし協力隊。うきはの豊かな地域資源と隊員個々の経験や能力を生かし、市のブランディング事業に取り組む。観光ツーリズムや食のブランディング、駅活用、移住・定住促進など、その活動は幅広い



「自然、文化、歴史など、うきは市の豊かな地域資源をいかに活用するか。皆さんと一緒に盛り上げていきたい」と知事



カフェ&どらやき店「キチココ」の中村宏司（写真右）・奈穂夫妻。結婚を機に北九州から移住し、吉井町白壁通りの観光案内所で飲食店を営む。九州各地でのイベントに出店し、市のPRに貢献するほか、今年6月に市内で開催した「熊本・大分応援フェアinうきは」では世話人として活躍



北九州市（きたきゅうしゅうし）

平成28年10月28日

障害者の就労支援と就労定着支援の取り組みを進め、すべての市民が互いを尊重し合う“共生のまちづくり”を目指す北九州市を小川知事が訪れました。

北九州市立特別支援学校 北九州中央高等学園（戸畑区）



北九州中央高等学園の皆さんと。同校では、生徒たちが将来自立した生活を送り、就業するために必要な力を身に付ける教育カリキュラムを実践





学校内にある喫茶室。学習の一環として、生徒たちがケーキやパンの製造・販売や注文・配膳などの接客も行っている







知事が訪れたこの日は学校開放週間の期間中。生徒たちが育てた野菜や苗、オリジナルカレンダーなどの販売が行われた



同校の特色である「作業学習」は実践的な技能の習得を目指すもので、清掃や印刷、木工、織物など多様なカリキュラムが組まれている

マルキタ流通株式会社（小倉北区）





マルキタ流通株式会社は、市内で複数の障害福祉サービス事業所を運営する「北九州市手をつなぐ育成会」に業務を委託。障害者の皆さんは同社の加工場まで出向いて働いている



障害者の皆さんは青果の仕分けや袋詰め、シール貼りなどの作業を担当。誰にでも使いやすい機械を導入することで、生産性も向上している



育成会は参加者の取りまとめや現場での作業指示などを行っており、企業と福祉施設の連携が障害者の社会参加の促進や収入向上につながっている

北九州障害者しごとサポートセンター（戸畑区）

国・県・北九州市の委託を受け運営される同センターは、障害者の就業・生活支援に取り組んでいる





求職活動の支援や関連機関との調整をはじめ、就職後も安定して働けるように職場定着支援にも力を入れている

団体紹介

障害者自立支援ショップ「一丁目の元気」（北九州市小倉北区京町）



障害者の皆さんが制作した商品を販売するほか、各種イベントが開催され、地域交流の拠点となっている。店内にはカフェもあり、数量限定のランチセットが楽しめる。NPO法人北九州小規模連が運営

地域で頑張る皆さん　対話　小川知事



「障害者の皆さまの就労支援、理解促進に社会全体で取り組み、全ての人が生き生きと活躍できる福岡県を目指していきましょう」と知事



障害者団体などで構成する「北九州市障害福祉団体連絡協議会」事務局長の古賀由美子さん。障害者への理解促進のための啓発活動や行政機関への要望活動に取り組む



「NPO法人北九州自立生活センター」代表の林芳江さん。自身の障害者としての経験を基に、障害者の自立に向けた精神的なサポートや情報提供を行う事業を実施



障害福祉サービス事業所などが加盟する「NPO法人北九州小規模連」事務局長の桑園英俊さん。運営する「北九州共同受注センター」では、お弁当などの発注を各事業所に分担している



「北九州中央高等学園」進路指導主事の石橋富士代さん。実習や就職先企業の開拓、就労継続のための卒後支援に取り組み、同校への入学希望者も年々増加している



障害者多数雇用企業の「サンアクアTOTO株式会社」取締役総務部長の長門賢一さん。障害者と健常者が一緒に働き、誰もが気持ちよく働ける環境づくりに取り組む



「北九州障害者しごとサポートセンター」副所長の玉置満さん。障害者の雇用拡大・定着には事業主の理解が重要と考え、企業向け出前講座を実施

豊前海 ブランドの海

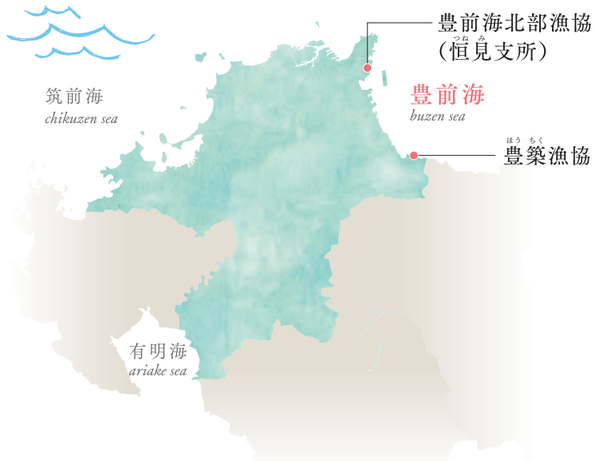
冬が近づくと県東部の海岸に「豊前海」の名を冠した幟がはためきます。沿岸一帯をグルメロードに変えるカニとカキの「豊前海ブランド」。その誕生の背景を紹介します。



港から15分、波穏やかな海は小型漁船によるカニカゴ漁に適している。底びき網漁の漁場と重ならないよう慎重に仕掛けたカゴを引き上げる



代々漁師の楳澤さん親子。篤さん(写真右)と息子の祐希さん。早朝に定置網漁、その後にカゴ漁を行う



放して育てる「豊前本ガニ」の漁

豊前海は干満の差が大きな海です。そのため回遊魚の格好の産卵場となる干潟が広がり、地付きの魚介類も多く生息し、多種多様な水産物を育みます。中でもワタリガニ(ガザミ)、エビ類などの甲殻類が豊富で、豊築漁協(豊前市)の楳澤篤さんと祐希さんの親子も代々受け継ぐカゴ漁でワタリガニを取っています。漁の最盛期は秋から冬。この時期、脱皮を終えたカニは大きくなり、身が詰まってきます。楳澤さんは港から約15分の漁場で、1本に50個のカゴが連なるロープを3本引き上げ、カゴに入ったワタリガニを取った後、餌(サバやコノシロ)を付け替えて、もう一度海に沈め、次の漁に備えます。漁師たちは豊前海の豊かな恵みを残すため、13センチ未満のカニは海に放ち、卵を抱えたメスは甲羅に「トルナ」の文字を書き込み再放流します。また、稚ガニの放流も毎年行っています。こうした努力を重ねながら、身の詰まった良質なワタリガニだけを「豊前本ガニ」として食卓に送り出すのです。



旬を迎えたワタリガニは身が詰まってうま味たっぷり。ゆでる、蒸す、炊き込むなど食べ方はお好みで

粒ぞろいのおいしさ「豊前海一粒かき」

波穏やかで遠浅、幾筋もの川が流れ込んで栄養たっぷりの豊前海は、カキ養殖も盛んです。そこで育つ良質なカキを「豊前海一粒かき」のブランドに仕上げるのは、「豊前海区かき養殖研究会」に所属する漁師たち。成育を良くするための養殖のノウハウだけでなく、衛生管理や殻をきれいな姿に磨く技術を共有することで、ブランドを確立しています。



「豊前海一粒かき」のブランドはいまや全国区



カニ、カキだけでない豊前海の恵み

冬が旬の「豊前本ガニ」や「豊前海一粒かき」の他にも、豊前海では季節を通じてさまざまな魚介類が水揚げされます。春はコウイカの盛期。初夏にはコショウダイが大群でやってきます。秋の名物は脂が乗ったハモ。県水産海洋技術センター豊前海研究所では、ハモをいつでもおいしく味わえるよう、冷凍技術の開発に取り組んでいます。

秋から冬にかけてはエビの季節。9～10月はシバエビ、11月はヨシエビが網に入ります。特にヨシエビはクルマエビに匹敵するほど甘く濃厚な味わいが特徴です。これらの中から次の「豊前海ブランド」が生まれるかもしれません。



火を通すと上品な薄紅色になるヨシエビ

■写真：古谷千佳子(ふるや ちかこ)
東京生まれ。海人に惹かれ20年前に沖縄へ移住。潜水漁業など海の仕事についた後、写真家へ。2007年毎日放送『情熱大陸』で海人写真家として紹介される。2010年より全国に点在する海女の撮影を開始。海辺の暮らし、仕事の中に見える「さまざまな原点」を撮り続ける。

豊築漁協

多彩な魚介は遠浅の海の恵み

小型機船底びき網漁

網口を広げた長さ約15メートルの袋状の網を漁船で引き、海底に潜む魚介を取る「小型機船底びき網漁」。エビ類を中心に漁をする磯田裕一さんは、「季節によって多種多様な魚が網に掛かるのが、この漁と豊前海の特徴」と言います。今年6月からは漁協直売所「四季旬海」（下参照）で、直接消費者に販売できるようになり「ますますやりがいを感じる」と力が入ります。



豊築漁協組合員
磯田裕一さん
「取れたての魚介には自信があります」
水揚げ直後のエビなどを夕方の対面販売に出し大好評

取ったエビを自分で売っています！



直売所に並ぶザッコ（アカエビ・写真手前）とシラサ（シバエビ）



豊前海北部漁協（恒見支所）

手間を惜しまず誇りを持って出荷

カキ養殖

全国各地にファンを持つ、カキのブランド「豊前海一粒かき」。その養殖が始まったのは1983（昭和58）年。江口猛さんは豊前海で最初にカキ養殖に取り組んだ一人です。「味には自信があったから、仲間と共に良いものだけを出荷しようと頑張ってきました」と話します。通常、カキは出荷できるまで1～2年かけて成長しますが、この海域は特に成長が良く、春に養殖いかだにつるした稚貝は、約8カ月で出荷できる大きさに育ちます。独自の創意工夫もあって、出荷の約1カ月前に船上で殻に付いたホヤやフジツボなどを取り除き、カゴに入れて再び海中につるすことで「大きく身入りが良くなる」と言います。出荷直前にも殻を丁寧に磨き、紫外線殺菌した海水に一晩浸し、身を浄化します。こうした江口さんたち漁師の、ブランドを揺るぎないものにしようとする技術やプライドは、次の世代にも受け継がれています。







カキの状態を確認した後、一つずつ磨き海に戻して成長を促す



カキ
さまざまな栄養素を含み“海のミルク”と呼ばれるカキ。日本で養殖されるのはマガキが多い

1～3月のカキが特においしいよ



豊前海北部漁協
恒見支所 代表理事
江口猛さん（写真右）、
息子・英利さん
7軒の漁師から始まった恒見支所のカキ養殖は現在16軒に。「後継者にも恵まれている」と江口さん



紫外線殺菌した海水に浸し、高品質で安全なカキが出荷される。出荷は11～3月ごろまで

漁師自慢の魚介は取れたてピチピチ

豊築漁協直売所 四季旬海

今年6月7日にオープンし、多くのお客でにぎわう漁協直営の「うみてらす豊前」。1階の直売所「四季旬海」には、漁から帰ってきたばかりの漁師が魚介を販売する「対面販売コーナー」や、漁船名が記された区画に魚が泳ぐいけすがあり、鮮度抜群の水産物が集まっています。1匹丸ごとの魚は、さばいてもらうこともできます（有料）、おいしい食べ方も教えてもらえます。







豊築漁協直売所 四季旬海 店長
川畑美由樹さん
京築の自然に魅かれ3年前に福岡市から移住。「山や森が豊かなので海も豊かだと実感します」と話す

鮮度と味は間違いなし！

〒豊前市宇島76-31 うみてらす豊前1階
営9:00～17:00　休 火曜日
問☎0979-64-6717
ファクス0979-64-6606

県内最大規模の水産の販売・加工・学習施設。建物には地元の木材をふんだんに使用している

観光スポットご紹介

●漁師食堂うのしま 豊築丸

「うみてらす豊前」の2階にある人気の食堂。窓越しに穏やかな豊前海を眺めながら、旬の海の幸が味わえます。「豊前本ガニ」（11～12月ごろ）や「豊前海一粒かき」（1～3月ごろ）、コウイカ（4～5月ごろ）、ハモ（8～10月ごろ）、秋サワラ（10～11月ごろ）など、旬の魚介類を使用した、絶品の定食や丼物などが提供されます。





旬の魚介が味わえる定食（写真上）。小エビのかき揚げ丼はボリューム満点

〒豊前市宇島76-31
うみてらす豊前2階
営11時～ラストオーダー14時
※売り切れ次第終了　休 火曜日
問☎0979-82-2620

●恒見 焼き食い処

豊前海北部漁協恒見支所が運営するカキ小屋では、恒見産「豊前海一粒かき」が炭火焼きで楽しめます。香り高く、ジューシーで深い味わいのカキは、軍手を着けて、カキむきナイフを片手に豪快にどうぞ。他に「豊前海一粒かき」を炊き込んだ数量限定のカキ飯や、サザエ、イカなども味わうことができます。





福岡県初の養殖カキ「豊前海一粒かき」がお腹いっぱい食べられる

〒北九州市門司区猿喰（新門司海浜緑地内）
営10時30分～16時　休 水曜日（4～11月中旬ごろは休業）
問☎080-2720-5861

きらめき マイタウン

宇美町（うみまち）

優美な氷の芸術。自然と歴史が溶け合うまち

河原谷（ごうらだに）の大つらら

例年寒気が強まる1月から2月にかけ、三郡山（さんぐんさん）の河原谷渓谷に現れる見事な大つらら。雪解け水などが岩肌をつたいながら氷結し、寒さが続くと、つららの高さが20mになることも



■ 地域交流センター うみ・みらい館
開放的な図書館や多目的ホールがあり、生涯学習を推進する宇美町の活動拠点となる施設。クリスマスの時期には建物外観にイルミネーションが灯される



■ 光正寺古墳
糟屋郡内で最大の前方後円墳。県内の前期古墳の中でも最古期の古墳とされ、当時、糟屋地域を支配していた王の墓と考えられている。国指定史跡



■ 四王寺毘沙門詣り（四王寺山）
1月3日（早朝から正午まで）、毘沙門堂でお金を借りて帰り、翌年倍にしてお返しすることで1年間お金に不自由しないとされる。町指定無形民俗文化財



■ 一本松公園（昭和の森）
「福岡県森林浴100選」に選ばれている自然を満喫できるスポット。四季折々の風景が美しく、夏場にキャンプを楽しめるバンガローもある



■ 大野城跡（尾花地区からの展望）
国指定特別史跡である大野城跡の南の山頂部に位置し、米や武器を貯蔵する倉庫が建っていた場所。近くの土塁の上からの見晴らしが良く、美しい夜景も望める



■ 大野城跡（百間石垣）
665年に築造したとされる日本最古の古代山城。大野城市・太宰府市にもまたがるが、城内の約80%が宇美町に所在。全長約180mの「百間石垣」も残る



■ 宇美町立歴史民俗資料館
考古展示室、民俗展示室、町民ギャラリーに分かれ、宇美町の歴史や文化を紹介。入館無料



■ 独鈷杵
四王寺山から出土した密教の儀式に使われる法具。青銅製で平安時代後期ごろのものとされ、九州では最古級



■ 宇美神楽
宇美八幡宮の神楽殿において、春の「子安大祭」、秋の「放生会」の年2回奉納される。県指定無形民俗文化財



■ 芋焼酎 宇美さん燦々
宇美町の太陽の恵みを燦々と浴びて育てられたサツマイモを使用した本格芋焼酎



■ 出初式
1月開催の宇美町消防団の出初式では、消防太鼓、纏振り、火消し節、梯子乗りなど力強く勇壮な伝統技術が披露される



■ 子安の石（宇美八幡宮）
安産祈願の際に「お産の鎮め」として納められている石を借り、出産後に新生児の名前を記した別の石と一緒に初宮参りでお返しするという習わしがある



■ 宇美八幡宮
神功皇后が應神天皇を出産されたといわれる地で、安産・育児の神として信仰され、多くの人が安産祈願やお礼参りに参拝する。境内の樹齢2000年以上とされるご神木「湯蓋の森」「衣掛の森」は国の天然記念物に指定されている

人と地域が紡ぐ まばゆい輝き

宇美八幡宮や大野城跡に加え、古墳や遺跡などが数多く残る宇美町。中国の歴史書「魏志倭人伝」にも町名の由来と考えられる「不彌」の記述があり、「古事記」や「日本書紀」にもその名を残すなど、歴史的にも由緒ある町です。

近年は福岡市のベッドタウンとして発展を遂げ、自然に囲まれた豊かな暮らしの中で安心して子育てができる環境づくりが進められています。平成32年に迎える町制100周年に向け、ますます輝きを増しています。

住民主体のまちづくり

宇美町では、近年のさまざまな地域課題を解決していくため、小学校区を単位とした新たな地域コミュニティ組織「小学校区コミュニティ運営協議会」を設置しています。町民と行政が「共にまちづくりを担う主役である」という意識を持って共働して取り組み、地域住民の創意工夫を生かした特色ある地域づくりが行われています。



「宇美東小学校区コミュニティ運営協議会」での発足会

ご当地キャラ紹介



くすの木君・しゃくなげちゃん
宇美町の木であるクスノキと、町花のシャクナゲをモチーフに誕生

■ 問い合わせ

宇美町役場
糟屋郡宇美町宇美5-1-1
☎092-932-1111（代表）
ファクス092-933-7512（代表）
http://www.town.umi.lg.jp/

宇美こども子育てネット・う～みん



代表理事の川上利香さん（写真前列右）と「ゆうゆう」を運営するスタッフ。保育士も常駐



「中学校子育てサロン」では、中学生が休み時間に遊びに来ることも



親子フェスタや親子バスハイクなどのイベントも企画

地域みんなで支え合いながら育む子育てを幅広く支援

「子育ての経験を通して、人とのつながりの大切さを実感したんです」と話すのは、代表理事の川上利香（かわかみりか）さん。「たくさんの人に囲まれて子どもを育てる環境をつくりたい」と平成14年に活動をスタートさせました。就学前の子どもとその保護者が集う子育て支援センター「ゆうゆう」の運営をはじめ、子育てに役立つ情報の発信や交流イベントも開催中。また、乳幼児とその家族が中学生と交流する「中学校子育てサロン」の運営など、幅広い世代に交流の場を提供しています。

「初めての子育てには、経験者のたくさんの知恵が支えになります。他の親子や運営スタッフと関わる中で、子どもだけでなく大人も成長できる環境をつくりたい」と川上さん。平成24年からはNPO法人として活動の幅を広げ、宇美町の子育てを応援する頼もしい存在です。

宇美町青年団



団長の馬渡大樹さん（写真左から３番目）ら約10人のメンバーで活動。イベント時には、元青年団の先輩も駆けつけてくれる



餅つき経験のない人にも楽しんでもらう参加型イベント



町外からも多くの見物客が訪れる奉納相撲

地域への愛を糧に町に活気を与える若手のパワー

18歳から25歳までの男女が所属する「宇美町青年団」。宇美町の発展に貢献することを目的に、町内のイベントなどに参加して地域を盛り上げています。5月に開催される「文化のつどい」では博多仁和加（にわか）やよさこいを披露し、10月の「放生会」では町民が楽しみにしている恒例の餅つきを行います。青年団が力強く杵（きね）を振るう姿を見てもよし、参加して一緒にお餅をつくもよし、２日間でもち米１００キログラム分が完売するほどの人気です。さらに伝統行事「奉納（ほうのう）相撲」では、０歳児の土俵入りを取り仕切り歓声を浴びます。

団長の馬渡大樹（まわたりだいき）さんは、「入団して6年、青年団を通してつながりが広がり、成長できた」と振り返ります。「宇美町に愛着を持つ人が増えるようなイベントをやっていきたい」という思いを胸に日々活動を続けています。

ふみの里 スポーツクラブ



サッカーで子どもの体力向上。小学3～6年生の男女が集う



高齢者向けのプログラムも充実。交流の場にもなっている



足の手術をした経験から健康の大切さを実感したという八木ちあきさん

誰もが楽しめるスポーツの力で地域全体を元気に

平成25年に立ち上げられた総合型地域スポーツクラブ「ふみの里 スポーツクラブ」は、地域とのつながりが深いのが魅力です。町民の要望を聞きながら作られた約30種のプログラムは、月額制で参加自由。公民館や武道館、小学校など、会場も町内各所にわたり、子どもから高齢者までさまざまな世代が参加しています。

この企画運営を任されているのがアシスタントマネジャーの八木（やぎ）ちあきさん。高齢者の体力づくりから親子で楽しめるプログラム、エアロビクスやヨガといったフィットネスまで、多彩なジャンルの種目を企画してきました。「みんなで手をつないで一緒に作り上げていく、地域に根付いたクラブでありたいですね」。スポーツを通して健康と自信、そして生きがいも与えてくれるクラブでは、２００人にも及ぶ会員が健やかな汗を流しています。

うみ花と緑の会



みどりの愛護活動を行っている団体として、国土交通大臣表彰を受賞した



会長の山﨑澄子（やまさきすみこ）さん（写真右）と副会長の川上瑠璃江（かわかみるりえ）さん



「花が好き」と集まった町民が自主的にボランティアに取り組む

季節の花が咲き誇り町全体がみんなの大きな庭に

平成20年に発足した、「うみ花と緑の会」は、現在66人のボランティアスタッフが一丸となり活動しています。活動時期は春と秋の年2回で、約４万本の花苗をビニールハウスで育てています。目標は「町民１人に１本」。町内の学校や保育園、公園、公民館の花壇などに花の苗を配布し、配布後は各行政区の花壇管理も行っており、町をきれいな花でいっぱいにしています。

「咲き誇る花を見た町民の笑顔が、ボランティアスタッフの励みになっています。花壇があることでごみの投棄も減っているんですよ」と会長の山﨑澄子（やまさきすみこ）さん。作業中はおしゃべりにも花が咲き、高齢の人も参加しやすい和やかな雰囲気です。今年６月には「全国『みどりの愛護』のつどい」で表彰され、小さな苗から始まる美しい町づくりへの意識がさらに高まっています。

ひとづくりは未来づくり
Think globally, act locally

ふるさと・田川の未来に羽ばたけ！

田川飛翔塾 ～田川・人財力育成プロジェクト～

「ふくおか未来人財育成ビジョン」を掲げ、青少年の人材育成に取り組む福岡県。今回は、田川地域の中学生を対象に、将来さまざまな分野で活躍するリーダーを育成する「田川飛翔塾※」の取り組みについてご紹介します。

※福岡県・田川地域8市町村で構成する「田川広域連携プロジェクト推進会議」の「田川・人財力育成プロジェクト」の一環として、平成24年から毎年開催されている

グループワークを通じて、リーダーとして成長

4泊6日のサマースクールで、各界の第一人者の講師陣による講義や社会見学、体験ワークショップを通じて将来のリーダーとしての資質を磨いていく「田川飛翔塾」。今年は、田川地域の学校推薦を受けた31人の中学2年生が参加しました。

「田川飛翔塾」の特徴は、講義を終えるたびに6人程度の班でグループワークを行い、さまざまな問題の解決策などを探り、それを発表しあうことです。



「開塾5年目ですが、10年、さらにその先へと続けていきたい。大学生スタッフとして塾生が帰ってくる日は近いし、いつかは卒塾生の講師が生まれるといいですね」と内田教授

福岡県立大学などの学生スタッフがリーダーとして塾生たちの発言を引き出し、班ごとに意見をまとめるサポートをします。「英彦山青年の家」での合宿最終日、内田晃（うちだあきら）北九州市立大学教授の「田川地域を読み解く」と題した講義が行われました。最後のグループワークが始まる直前に、「リーダーは各班から離れるように」との指示があり、どの班からも「エ～ッ」と不安そうな声が上がりました。

「私たちが目指す未来の田川」とは

最後のグループワークのテーマは、「私たちが目指す未来の田川」。話し合いが始まると、塾生の表情から不安の色は消え、熱心な議論が交わされました。

「私はこれまで塾初日の講義を担当していましたが、今回初めて最終日の担当になりました。大学生スタッフが『塾生たちは毎日成長する』とよく話していますが、今日はその成長の跡を見ることができました」と、内田教授も活発な各班の話し合いに頼もしさを感じた様子。

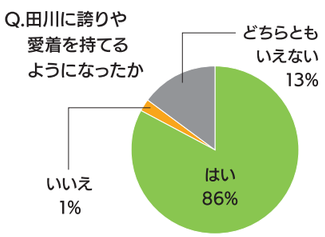


まだ出会って数日とは思えない一体感。真剣な議論を重ねた成果の輝く笑顔

自ら考え、他の人の意見を聞き、テーマを掘り下げ、目指すべきことを見つけていく。郷土について改めて思いを巡らせ、その未来を描く中で、リーダーに求められる資質をしっかりと身に付けていく「田川飛翔塾」。将来を担う人材を地域全体で育成する取り組みから、世界に羽ばたき、ふるさと・田川の未来を担う「人財」が生まれることが期待されます。

● 田川・人財力育成プロジェクト「田川飛翔塾」卒塾生アンケート

Q.田川に誇りや愛着を持てるようになったか





講師の話を聞き逃すまいと、講義を真剣に聞く塾生たち



グループワークでは、リーダーとともに問題の解決策について話し合う

Q.将来の田川をどんなまちにしたいですか？

子どもたちの声 MY VOICE



（写真右から）
弓削田（ゆげた）中学校2年
江口海人（えぐちかいと）さん
伊田中学校2年
馬渡華音（まわたりかのん）さん

先輩が教える 未来づくり

このコーナーでは、国際的な視野を持って、地域で活躍する福岡県出身の先輩から、子どもたちに向けてのエールを掲載します。



今回の先輩
スピングラス・アーキテクツ
松岡恭子（まつおかきょうこ）さん
（福岡市出身）

天神の水上公園に、7月に誕生した広場と新施設をデザインした建築家・松岡恭子さん。「『建物は総合芸術である』という言葉を知ったのが建築家を目指したきっかけ。建築家は、建物をどう形にするかだけでなく、建築に携わる人たちをゴールに向けて、リードしていく力も必要です。大変ですが、地元が豊かになるお手伝いができ、自分がデザインした空間で人々が楽しそうにしているのを見ると、やりがいと喜びを感じます。建築は、そのデザインで世界中の人とコミュニケーションが取れるいわば『海外へのパスポート』。どんどん外に出て視野を広げてほしいな」。

ふくおか未来人財育成ビジョン

福岡県が策定したこのビジョンは、「学力、体力、豊かな心」、「社会にはばたく力」、「郷土と日本、そして世界を知る力」を育むための青少年育成策の方向を示しています。「郷土と日本、そして世界を知る力」を身に付けるためには、郷土と日本の歴史、文化、伝統などに対する理解を深めるとともに、広い視野を持って異文化を理解し、異なる習慣や文化の人々と共に生きていくための資質や能力を身に付けることが必要になります。

木材の地産地消で森を元気に!

県土面積の約半分を森林が占める福岡県。建築材料として利用されるスギ・ヒノキ林の70%が利用期を迎えています。福岡県では、植える・育てる・収穫するといった「健全な森林のサイクル」を保つため、県産材の利活用を通して木材の地産地消に積極的に取り組んでいます。

健全な森林のサイクルとその効果

- 豊かな水源の確保
- 森林のCO2吸収力の向上
- 洪水や土砂災害の防止
- 農山村地域の活性化　など



育てる

未来へ受け継ぐ、資源のバトン

健全な森林のサイクルを保つ、その最前線は、スギやヒノキを伐採・植林する林業です。「日本の豊富な森林資源をもっと生かすために、まずは多くの人に県産材の魅力について興味を持ってほしいと、福岡県八女森林組合の白木健太郎（しらきけんたろう）さんは話します。「数十年前に先代が植えて大切に育んだ木を、自分の世代が収穫し、次の世代のためにまた新たに木を植える」、そんな〝資源のリレー〟への責任とやりがいを胸に、日々作業に取り組んでいます。



樹齢約50年のスギを収穫する現場。福岡県八女森林組合林産課の皆さんと、班長の白木健太郎さん（写真左）

加工する

県産材の魅力を、大川から発信



「試行錯誤を重ね、県産材活用のノウハウを蓄積してきました」と話す家具メーカーの皆さんと、土井彌一郎さん（写真前列左）

「日本有数の家具の産地・大川の有する高度な木工技術とデザイン力を生かした県産材の活用・PRに努めています」と話すのは（一財）大川インテリア振興センター理事長の土井彌一郎（どいやいちろう）さん。センターでは、2年前から地元企業と協力し、県と共催で県産材を活用した家具の展示会を開催しています。

「香りの良さなど、スギ・ヒノキ材ならではの良さがある。これからはもっとブランドイメージを高める工夫が必要」と話すのは、参加企業の1つである木彩工房（きさいこうぼう）の小島嘉則（こじまよしのり）さん。家具メーカーの皆さんも「コストや加工技術などの理由から、県産材の活用はまだ発展途上ですが、情熱を込めたものづくりで、消費者にもその魅力を伝えていきたい」と熱い思いを語ります。



八女産のスギ材のベンチ。脚にはCLT※パネルを使用。丈夫で寸法の変化の少ないCLTは、県産材の活用促進に期待されている

※CLT=Cross Laminated Timber
ひき板を並べ、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料

使う

地域資源を生かした豊かな教育環境

木のぬくもりが溢れる校舎で、元気いっぱいに学ぶ子どもたち。「第2回福岡県木造・木質化建築賞　木質化の部」で大賞を受賞した嘉麻市立嘉穂小学校では、嘉麻産のスギ材がふんだんに用いられています。県平均を上回る森林率約60%の同市では、市内5小学校が統合されるに当たり、「地元の豊かな自然に触れながら学べる場を」と、校舎の木質化に踏み切りました。品質の高い大量の地元産材を確保するため、地元の森林組合の協力の下、建築発注の2年前から木材を調達。木質化によるぬくもりの創出と合わせ、全校児童が一緒に給食の時間を過ごせる「ランチルーム」を設置し、クラスや学年を越えたコミュニケーションを後押しするなど、さまざまな工夫が見られます。保護者をはじめ地域の人にも好評で、「自分と同じ土地で育った木が使われている校舎に、子どもたちも愛着を持ってくれているのでは」と、同校・大庭智子（おおばともこ）教諭。地元産材と地域愛に包まれた空間は、今日も子どもたちの成長を優しく見守ります。



嘉穂小学校の取り組みは今後の大規模木質化の参考になるものとして、賞選考の際に高く評価された



掃除もランチタイムも全校児童で。日々、ふるさと産の木材と触れ合っている



教室と廊下の間に設けられた多目的スペースは、学習に活用できるだけでなく、外気温の影響を緩和する働きもある



「木がたくさん使われていて居心地がいい」と話す、6年生の吉田柚子（よしだゆうこ）さん（写真右）と久保山朔灯（くぼやまさくと）さん（写真中央）、大庭智子教諭

私たちの安全・安心、そして快適な生活を支えてくれる森林。その機能を最大限に生かすためにも、木材の地産地消は必要なのです。県産材は家具や建築物以外でも、紙製品やおもちゃなどに幅広く活用されています。



県産材を原料とした「福岡の森の木になる紙」

福岡の森の木になる紙　検索

福岡県工業技術センター　インテリア研究所



八女産のスギやヒノキを使用した「ぐっポス」。筆記時にペンを持たない側の手で握ることで良い姿勢が維持できる

インテリアや木質製品に関する研究開発・技術相談・強度試験などを通して県内中小企業を支援しています。2014年度福岡デザインアワードで大賞を受賞した「ぐっポス」や、薄板を用いた木製容器「木匠（もくたくみ）シリーズ」など、県産材を用いた商品開発にも力を入れています。

所 大川市上巻405-3　☎0944-86-3259　ファクス0944-86-4744

県政フラッシュ



感動をありがとう!

今年9月に開催されたリオデジャネイロ・パラリンピック競技大会において、太宰府市在住の道下美里(みちした みさと)選手が女子マラソン（視覚障害）で見事銀メダルを獲得されました。10月5日、道下選手はガイドランナーの堀内規生(ほりうち のりたか)さんと一緒に県庁を訪問し、銀メダル獲得を知事に報告しました。県では、県民の皆さんに大きな喜びと感動、夢や希望を与えてくれた道下選手に県民スポーツ栄誉賞を授与する予定です。

©TGC KITAKYUSHU 2016 by TOKYO GIRLS COLLECTION



日本最大級のファッションイベントが再上陸

10月9日、史上最大級のファッションイベント「東京ガールズコレクション」がプロデュースする「TGC北九州2016」が、北九州市で開催されました。同市での開催は昨年に続き2回目。最先端のファッションを身にまとったモデルが華麗にランウェイを歩く姿に、延べ約1万3千人から大きな歓声が送られました。近隣の商業施設や飲食店でも関連イベントが実施され、街全体が大いに盛り上がりました。



おいしいもの、見つけた!

10月18日、JR博多駅前で、障害者の方が作るお菓子などの「まごころ製品」のグランプリを決定する「『まごころ製品』美味しいものグランプリ2016」が開催されました。「おいしい部門」ではワークランド・こすもす（築上町）の「クラムケーキ」、「かわいい部門」ではパン工房雅（宮若市）の「ぶどうパン」、「贈りたい部門」ではれんこん（久留米市）の「たまねぎドレッシングプレミアム」がグランプリに輝きました。



北九州空港で、もっと海外が近くなる!

今年の冬、北九州空港と中国・韓国がぐっと近くなります。中国の天津航空の大連線が10月に、韓国のLCCジンエアーの釜山線とソウル（仁川）線が12月に就航しました。北九州ー大連線は週2往復、釜山線は毎日1往復運航、ソウル（仁川）線は就航当初の週4往復が、平成29年2月からは毎日1往復に増便の予定です。ビジネスに、観光に、ますます便利になる北九州空港をぜひご活用ください。

Information Square

情報広場

観覧料の割引など詳細については、
各施設にお問い合わせください。

九州芸文館

ちくごアートファーム計画2016 ～筑後の自然と創造力 アートで地球と遊ぶ 木村崇人展

「地球と遊ぶ」をテーマに、目に見えない地球の力を視覚化し、実際に体で感じることができる体験型作品を制作する美術家・木村崇人氏の展覧会です。筑後地域の自然や伝統工芸などを活用して、子どもから大人まで自然現象を楽しく体験できる作品展示やワークショップを実施します。



《「アートで地球と遊ぶ」プランドローイング》
木村崇人 2016年

会　期 12月10日(土)～平成29年2月19日(日)
観覧時間 10時～17時
休館日 月曜日　※ただし1月9日(月・祝)は開館、12月29日(木)～1月3日(火)、1月10日(火)は休館
観覧料 無料
交通アクセス
◎九州新幹線・JR鹿児島本線 筑後船小屋駅下車　徒歩約1分
◎九州自動車道 八女ICから車で約10分
みやま柳川ICから車で約15分



《太陽からのおくりもの ～雲になる日～》
木村崇人 2015年
※河口湖美術館(山梨)での作品制作の様子

問い合わせ｜九州芸文館　筑後市津島1131　☎0942-52-6435　ファクス0942-52-6470　http://www.kyushu-geibun.jp/

九州国立博物館

特別展「宗像・沖ノ島と大和朝廷」

世界文化遺産の国内候補となった「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」。日本各地で発掘された出土品と、日本最古の歴史書である「古事記」・「日本書紀」に記された神話を交差させながら、大和朝廷を基盤に成立する「神宿る島」宗像・沖ノ島の源に迫ります。



国宝 金製指輪 古墳時代 宗像大社蔵
展示期間：1月31日(火)～3月5日(日)

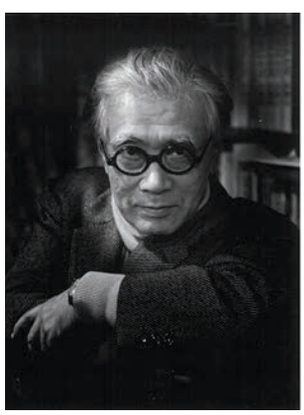
会　期 平成29年1月1日(日・祝)～3月5日(日)
観覧時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休館日 月曜日 ※ただし1月2日(月・振休)・1月9日(月・祝)は開館、1月10日(火)は休館
観覧料 一　般　1,500円(1,300円)、高大生 1,000円(800円)
小中生　600円(　400円)
※(　　)内は前売り、20人以上の団体料金
交通アクセス ◎西鉄太宰府線 太宰府駅下車　徒歩約10分
◎九州自動車道 太宰府ICまたは筑紫野ICから車で約20分

問い合わせ｜九州国立博物館　太宰府市石坂4-7-2　☎ハローダイヤル 050-5542-8600　ファクス092-929-3276　http://www.kyuhaku.jp/

福岡県立美術館

郷土の美術を みる・しる・まなぶ2017 写真家 片山攝三展

福岡の地で写真館を営む傍ら、日本各地の芸術家、文豪、思想家たちのポートレート撮影を重ねた、写真家・片山攝三。写真館での活動、遠く撮影に赴く姿勢や写真に対する探究など、彼の生涯をかけた取り組みに迫ります。



片山攝三の肖像
山口睦男撮影 1981年

会　期 平成29年2月4日(土)～3月20日(月・祝)
観覧時間 10時～18時(入場は17時30分まで)
休館日 月曜日 ※ただし3月20日(月・祝)は開館
観覧料 一　般　300円(200円)、高大生　140円(100円)
小中生　60円(　50円)
※(　　)内は20人以上の団体料金
交通アクセス ◎西鉄バス「市民会館前」下車　徒歩約2分、「天神北」下車　徒歩約5分
◎福岡市地下鉄空港線 天神駅下車　徒歩約10分
◎西鉄天神大牟田線 福岡(天神)駅下車　徒歩約15分

問い合わせ｜福岡県立美術館　福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内)　☎092-715-3551　ファクス092-715-3552　http://fukuoka-kenbi.jp/

福岡県広報のごあんない

●テレビ番組
TVQ「ハロー！ふくおか県」
毎週土曜日放送　20時54分～21時
RKB「福岡県庁知らせた課」
毎週日曜日放送　16時54分～17時

●ラジオ番組
FM福岡「福岡県だより」　毎週月・木曜日 9時35分～9時40分

●新聞
「福岡県からのお知らせ」
偶数月の第3日曜日の新聞にお知らせ掲載

●世帯向け広報紙
「福岡県だより」
奇数月に発行

●インターネット
福岡県ホームページ
http://www.pref.fukuoka.lg.jp/
ふくおかインターネットテレビ
http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/
Twitter
アカウント　●名　　前…福岡県庁
●ユーザー名…@Pref_Fukuoka
https://twitter.com/Pref_Fukuoka

バナー広告募集中
詳しくは
福岡県　バナー　検索

常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査及び議案、請願等を審査するために設置されています。本県議会においては、総務企画地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の2つの委員会を紹介します。

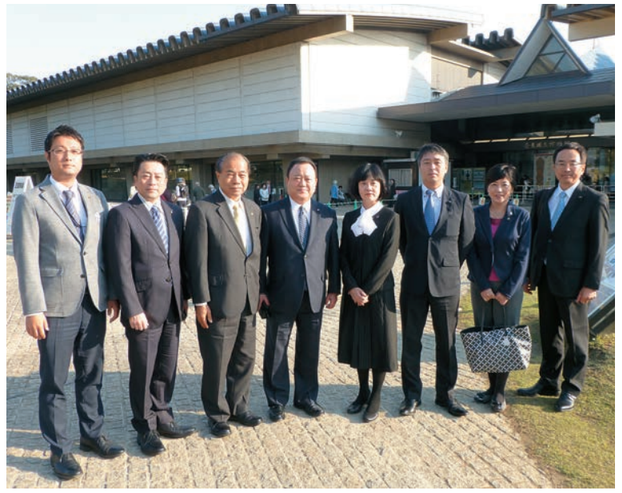
文教委員会

【委員会の開催状況】

9月29日に開催した委員会では、「平成28年度福岡県一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕」の議案審査や「平成29年度県立高等学校入学定員について」、「県立特別支援学校に係る今後の整備について」などを議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

11月7日から9日にかけ、奈良国立博物館（奈良県）、比叡山高等学校（滋賀県）、世界文化遺産総本山仁和寺（にんなじ）、京都市立御所南小学校（以上京都府）を視察しました。そのほか、所管にかかる視察・調査を随時行っています。



奈良国立博物館（奈良県）を視察（平成28年11月7日）

警察委員会

【委員会の開催状況】

11月8日に開催した委員会では、「博多駅前道路における陥没事案の発生について」、「暴力団員の社会復帰対策の現状について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

11月8日および9日に、航空隊（福岡市）を視察しました。そのほか、所管にかかる視察・調査を随時行っています。



航空隊（福岡市）を視察（平成28年11月8日）

調査特別委員会

調査特別委員会は、特定の案件を審査したり、調査したりするため、必要に応じて設置されます。本県議会では、現在6つの調査特別委員会が設置されています。今回は次の2つの調査特別委員会を紹介します。

空港、防災及び水・エネルギー等社会基盤調査特別委員会

【委員会の開催状況】

11月25日に開催した委員会では、「ダム事業の検証について」、「福岡県交通ビジョンについて」、「福岡空港の民間委託について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

8月23日から25日にかけ、宮城県議会、石巻市役所、仙台国際空港（以上宮城県）、胆沢（いさわ）ダム（岩手県）を視察しました。そのほか、当委員会の案件にかかる視察・調査を随時行っています。



仙台国際空港（宮城県）を視察（平成28年8月24日）

こども・子育て支援調査特別委員会

【委員会の開催状況】

10月24日に開催した委員会では、「ふくおか学力アップ推進事業について」、「子どもの読書活動充実事業について」、「中一不登校等対策強化事業について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

8月22日から24日にかけ、広島県議会（広島県）、島根県議会、松江市役所、邑南町（おおなんちょう）役場、邑南町立いわみ西保育所（以上島根県）を視察しました。そのほか、当委員会の案件にかかる視察・調査を随時行っています。



邑南町役場（島根県）を視察（平成28年8月23日）

問い合わせ　福岡県議会事務局 調査課　☎092-643-3832　ファクス092-643-3825

※福岡県議会ホームページでは、本会議情報、委員会情報、議員紹介等の掲載のほか、会議録の検索と閲覧、議会中継を実施しています。

福岡県議会ホームページ　http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/

携帯電話向けサイト　http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m/

PC版　携帯電話版

県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部の概要を紹介します。

決算特別委員会の審査概要

本年9月の定例会において設置された決算特別委員会では、付託された「平成27年度福岡県一般会計決算」など20件の議案について、9日間の日程で審査が行われました。

【審査の概要】

審査に当たっては、二元代表制の趣旨を踏まえ、県政の重要課題を中心に活発な議論が交わされました。主な内容は次のとおりです。

○知事の危機管理について
○RDF発電事業の今後の県の方向について
○野鳥保護について
○熊本地震に対する県民からの支援物資の状況と対応について
○保育士確保と待機児童の解消に向けた取り組みについて
○TPP協定による本県農林水産業への影響について
○企業誘致について

このほか、防災対策、交通政策、保健医療政策、スポーツ振興、住宅政策、教育行政などさまざまな課題について活発な質疑があり、建設的な意見、要望等がなされました。

【審査の結果】

付託された20件の議案について、委員会の最終日に採決が行われ、いずれも認定、または原案可決および認定されました。

同委員会の構成メンバーは次のとおりです。

◎井上　忠敏　○原竹　岩海　今林　久　縣　善彦
江藤　秀之　吉松　源昭　塩川　秀敏　阿部　弘樹
平井　一三　中牟田伸二　板橋　聡　川端　耕一
吉村　悠　西元　健　井上　博行　岳　康宏
浦　伊三夫　原中　誠志　堤　かなめ　大橋　克己
今井　保利　渡辺　美穂　大田　京子　佐々木　允
浜﨑　達也　新開　昌彦　高橋　雅成　西尾　耕治
吉武　邦彦　椛島　徳博　高瀬菜穂子

（◎印は委員長、○印は副委員長）



決算特別委員会の審査風景

全国都道府県議会議長会

10月25日、第155回全国都道府県議会議長会定例総会が茨城県水戸市で開催され、本県議会から中尾議長が出席しました。

総会では、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「防災・減災対策の強化に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」、「北朝鮮のミサイル発射及び核実験に抗議する決議」などについて趣旨説明が行われた後、決定されました。次に、「平成29年度政府予算編成に関する提言」について各委員会の委員長報告が行われ、採決の結果、全ての議案が原案のとおり決定されました。

また、総会終了後には、重介護ゼロ社会に向けた取り組みについて、筑波大学大学院教授の山海嘉之（さんかいよしゆき）氏の講演が行われました。



豊かな海づくりフェスタ

10月29日、来年10月に本県で開催される「全国豊かな海づくり大会」のプレイベント「豊かな海づくりフェスタ」が宗像市鐘崎（かねざき）漁港で開催され、中尾議長が出席しました。

記念式典では、中尾議長が「大会が開催され、本県が誇る水産物を県内外に発信・PRすることは、漁業者の意欲の向上、消費者の笑顔へとつながっていくものと期待しています。県議会としても、来年の大会の成功、水産業の振興・発展に向け、今後とも鋭意取り組んでまいります」とあいさつし、大会の成功を祈ってトラフグとマダイの稚魚の放流を行いました。

会場では、漁船パレードや魚のつかみ取りなどのイベントが行われ、大勢の参加者でにぎわいました。



稚魚（トラフグ）の放流

第9回海外福岡県人会世界大会 福岡県訪問団

10月12日から19日までの8日間の日程で中尾正幸議長は各会派代表者や大曲昭恵副知事と共に、第9回海外福岡県人会世界大会福岡県訪問団に参加しました。

今回の世界大会はメキシコシティで開催され、世界11カ国・地域の15県人会から、約200人の福岡出身の移住者や子孫が集まりました。

大会では、メキシコ宣言が発表され、県人会活動の活性化に引き続き取り組むとともに将来の県人会を担う青少年の育成を図ること、2019年の第10回海外福岡県人会世界大会を福岡県で開催することなどが決定されました。中尾議長は「温かい気持ちでお迎えします。3年後、福岡の地で皆さんとお会いできることを楽しみにしています」とあいさつしました。

また、大会の開催に合わせて、先亡者慰霊碑献花式が執り行われ、日本からメキシコに移住して現地で亡くなった人の御霊（みたま）に、深く哀悼の意を表すとともに、全員で献花を行いました。



第2回世界獣医師会―世界医師会 “One Health”に関する国際会議

11月10日および11日の2日間、第2回世界獣医師会―世界医師会“One Health”に関する国際会議が北九州市で開催され、約30カ国から医師・獣医師の皆さんが参加されました。

10日の開会式では、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜り、日本獣医師会の藏内勇夫会長（自民党県議団）が「国際会議の開催が、人と動物が安心して共生できる社会の構築につながるよう心から期待しています」とあいさつしました。また、会議では人と動物の共通感染症についての講演およびパネルディスカッションが行われました。さらに、この国際会議の機会を捉えて、支援委員会福岡顧問の中尾議長は、歓迎の夕食会で、参加の皆さんを歓迎するとともに本県が誇る食、文化などの魅力を述べ、本県のPRを行いました。

12日には、関連イベントとして「2016動物感謝デー in JAPAN」が開催され、1日獣医師体験やホースセラピーなどが行われました。



グラフ ふくおか
No.585 GRAPH FUKUOKA
2016 WINTER 冬

第4回 福岡県「まごころ製品」展示・販売・ふれあいメガフェア

大規模販売会

障害者のみなさんが丹念に仕上げた「まごころ製品」が勢揃い！

企業やプロの職人と共同で開発・製作した商品や素材にこだわった手作りの食品、技術に磨きのかかった木工品、丁寧な手仕事の縫製品など、魅力的な製品がたくさん並びます。その数約1200アイテム、約50000点！一年に一度の大規模販売会です。

「まごころ製品」美味しいものグランプリ2016のグランプリ商品もお買い求めいただけます。



クラムケーキ
ワークランド・こすもす



たまねぎドレッシングプレミアム
れんこん



ぶどうパン
パン工房雅

平成29年 1月11日（水）～15日（日）

時間 午前10時～午後8時（最終日は午後6時まで）　会場 福岡三越9階＝催物会場（福岡市中央区天神2-1-1）

Event Information

① 障害者アスリート講演会

1月11日(水)
午前10時40分～午前11時20分

出演：浦田理恵（ゴールボール選手）
パラリンピック3大会出場
（北京・ロンドン・リオデジャネイロ）

- 2016年リオデジャネイロパラリンピック主将
- 2012年ロンドンパラリンピック金メダル



写真／ユニアスリート

② 特設販売コーナー

1月11日(水)～15日(日)
午前10時～午後8時
（最終日は午後6時まで）




- 熊本地震復興応援販売…
  熊本県内の「まごころ製品」が登場します。
- 特選！日本全国まごころ製品よかもん市…
  全国の障害者施設から選りすぐりの「まごころ製品」を取り揃えて販売します。

③ 似顔絵チャリティー



1月13日(金) 午後1時～

出演：うえやまとち先生
（クッキングパパの作者）他、九州ゆかりの漫画家の皆さん

似顔絵を販売して、売上は熊本地震義援金としてお届けします。

④ 餅つき大会・お汁粉振る舞い

1月14日(土)　午前の部 午前10時30分～
午後の部 午後1時30分～

熊本地震義援金として100円以上をいただいたお客様に、つきたてお餅のお汁粉を振る舞います。



⑤ 若商河童ガールズ応援販売

1月14日(土)～15日(日) 午前10時～午後3時

県立若松商業高校が企画開発した「若商河童せんべい」の販売を、若商河童ガールズが応援します。

博多食文化の会 スペシャルイベント

元気もん！うまいもん！
1月15日(日)
午前11時30分～午後3時

“食の匠集団”「博多食文化の会」が、障害者施設の新鮮野菜や福岡県産の食材を使った料理をチャリティー価格でご提供します。

メニュー：ローストビーフサンド、フレンチ・トースト、担々麺、フカヒレ餃子、エビ餃子、杏仁豆腐、マンゴープリン、博多水炊き、もつ鍋、あげたこ焼き　など

主催 福岡県「まごころ製品」大規模販売会実行委員会
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 福岡県福祉労働部障害者福祉課
☎ 092-643-3263
ファクス 092-643-3304

ウェブサイトはこちら→

通巻585号 平成28年12月20日発行（季刊）
発行／福岡県 県民情報広報課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 ☎092(643)3102(直通) ファクス092(632)5331
福岡県広報部長 エコトン
この広報誌は再生紙を使用。印刷用の紙へリサイクル可。
製作／株式会社 利助オフィス